

おもちゃと人形のはた

昔懐かしいレトロな
おもちゃがずらり!

コマやメンコなどノスタルジックなおもちゃが並ぶ店内は、子供から大人まで世代を超えて楽しめます。まるで昭和にタイムスリップしたかのような、ほのぼのとした雰囲気です。

岩見沢市1条西4丁目4/TEL.0126-22-1008
●営業時間 10:00~17:30 ●定休日 火曜(不定休)



昭和4年創業。店主の畑さんが、おもちゃの遊びかたを教えてください。



夏限定で販売される花火は全てバラ売りOK。珍しい純国産の線香花火は繊細な光を放ちます

パーラーたちかわ

大正ロマン漂うレンガ蔵の喫茶店

大正時代のレンガ蔵を利用して、1979(昭和54)年から喫茶店として営業。趣あるレンガが店内の壁にも残る、温かな雰囲気の店です。

岩見沢市4条西1-4-1
TEL.0126-24-0261
●営業時間 11:00~19:00
●定休日 日曜



店主の立川順子さんが一人で切り盛りしています



1922(大正11)年築の蔵は岩見沢百年史にも載る歴史的建造物



建築学的にも希少性が高い重厚なレンガ造りの建物。壁には五稜星をかたどった北炭の社章が掲げられています。内部見学は不可

岩見沢 ノスタルジック散歩

地元で長く親しまれている店や
歴史ある建造物を巡ってみませんか?

岩見沢レールセンター

(旧・北海道炭礦鉄道岩見沢工場)

鉄道のマチの栄華を記憶する産業遺産

JR岩見沢駅北口にあるこの建物は、1899(明治32)年に北海道炭礦鉄道(北炭)岩見沢工場の車両製造・修理や道内のレールを加工する工場として建設されたもの。鉄道交通の要衝として栄えた歴史を今に伝えます。現在も現役で稼働中。近代文化産業遺産および準鉄道記念物に指定。

岩見沢市北1条西2丁目

らい久(らいきゅう)

老若男女に人気の
愛されラーメン

空知が炭鉱で栄えていた時代から、変わらぬ味を提供し続けている老舗ラーメン店です。昔ながらの味わいで、ボリューム満点の盛りも魅力。老若男女に根強く人気を誇っています。

岩見沢市5条西2丁目2
TEL.0126-22-2864
●営業時間 平日10:00~14:00
土・日曜・祝日9:00~14:00
●定休日 木曜



野菜がたっぷりのった「味噌野菜ラーメン」



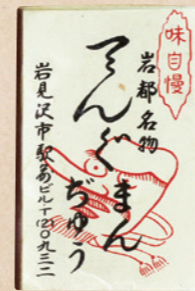
初めて来ても「懐かしい」と思わずつぶやいてしまいそうな店内

天狗まんじゅう本舗 駅前店

蒸したてホカホカ、昔ながらの手作りまんじゅう

創業は1954(昭和29)年。当時と同じ製法を守り続ける「天狗まんじゅう」は、多くのファンがいる看板商品です。ほんのり甘くて塩味の効いたこしあんは、後を引くおいしさ。注文すると蒸し器から熱々の商品を出してくれます。

岩見沢市2条西6丁目9-1(駅から徒歩1分)/TEL.0126-23-4605
●営業時間 9:00~18:00 ●定休日 日曜



上/定番商品から新商品までずらり! 駅前店のイトインスペースはコロナ禍で当面の間閉鎖中です
左/天狗まんじゅうは写真のピンクを含め3色。ほかにも蒸しパン類や懐かしい和菓子が種類豊富。ピリ辛の肉まんも人気

事務所に併設された札幌軟石造りの石蔵は
催事スペースとして使われています



そらち炭鉱(ヤマ)の記憶 マネジメントセンター

空知の炭鉱情報を知りたい人はまずここへ

空知の「炭鉱の記憶」の情報拠点。資料や本の閲覧ができるほか、イベントや炭鉱遺産の情報も教えてください。広々とした事務所の建物は1927(昭和2)年築。併設された1909(明治42)年築の石蔵は催事スペースとして活用されています。



事務所にはカフェスペースも。くつろぎながら見学できます

岩見沢市1条西4丁目3
TEL.0126-24-9901
●開館時間 10:30~17:30
●休館日 月・火曜
(祝日は開館し、翌日休館)
●入場料 無料
●http://www.mc.soratan.com/



JR岩見沢駅

見どころいっぱい複合駅舎

1884(明治17)年に官営幌内鉄道の駅として開業した歴史ある岩見沢駅舎は、全国初の公募型コンペを経て2007年に新駅舎が完成。モダンなデザインや「レールの故郷となる」などのコンセプトを含め、グッドデザイン賞や日本建築学会賞、ブルネル賞など数々受賞しています。

岩見沢市有明町南1-1/TEL.0126-22-0831

左/かつて、ばんえい競馬があった岩見沢。今も駅ホームに像があります

上/駅舎の窓には古い鉄道レールが使われています

下/眺望が良いガラス張りの有明連絡通路は人気の観光スポット



奥行きがある店内は、ソファが落ち着いた雰囲気。マスター&ママが笑顔で迎えてくれます

喫茶 にれ

昭和の香りにほんわり和む憩いの場

ちょっと一息つきたい時に地元の人々が足を向ける、駅前にある昭和の香り漂う喫茶店。ナポリタンやハンバーグなど食事メニューが豊富でデザート類も人気。食後もゆったりでき、くつろぎの場として長く支持されている店です。

岩見沢市1条西6丁目9-4 / TEL.0126-24-1735
●営業時間 9:00~17:00 ●定休日 日曜



チョコレートパフェやクレープなどのデザートもおすすめ

人気の「にれセット」は、ハンバーグ&ハムエッグにコーヒー付き

店はバスターミナルの目の前。午後3時から営業しています

やきとり 三船

炭火で焼き上げるジューシーなモツが人気

美唄の「三船」からのれん分けして、1965(昭和40)年に開店した地元で人気の炭火焼き鳥店です。焼き鳥はモツとセイノクの2種類。100~200本も持ち帰る人がいるというジューシーな串は、とりこになるおいしさです。

岩見沢市1条西7丁目1 / TEL.0126-24-1788
●営業時間 15:00~21:00 ●定休日 日曜・祝日



左/カウンター内で接客をする次男の智和さん
右/モツもセイノクも味に定評があり、お持ち帰り(要予約)の注文が多いのも特徴です



1度に60本焼ける焼き台で作業中の長男・太田憲和さん。人気はモツだそう

タイムスリップしたような風景。鉄道もそのまま残されています



万字線鉄道公園(旧あさひ駅)

昭和時代のローカル 駅にタイムスリップ

1985(昭和60)年に廃線となった旧国鉄万字線朝日駅の跡を公園として整備。木造の駅舎やプラットホーム、B20形蒸気機関車や踏切などが保存されています。

岩見沢市朝日町176-4 / TEL.0126-23-4111(代)
建設部公園緑地環境課

戦時中に製造されたB20形蒸気機関車の1号機も展示

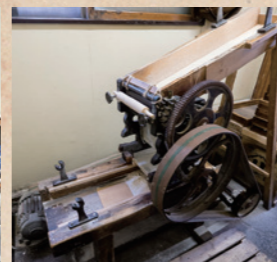


西谷食堂

姉妹2人で営む、3代続く駅前の大衆食堂

テキパキと手際よく料理を出してくれる、3代続く駅前の大衆食堂。今は姉妹2人で営んでいます。豊富なメニューの中でも、毎朝打つそばや、隠し味のショウガが効いたジューシーな「カツ丼」が人気。世代を問わず市民に愛されています。

岩見沢市1条4丁目6(駅前) / TEL.0126-22-0415
●営業時間 10:00~15:00 ●定休日 第1・第4日曜



上/創業から使用されている石炭のかまども風情たっぷり
左/そばは朝一番に手でこね、明治時代の機械で製麺します



右/ショウガが効いたカツ丼や開花丼、カレーライスが名物。写真は地元産の米や野菜を使った「カツ丼」と「カレーそば」
左/店は駅前にあり、市民に長く愛されています



2人で営む店は床もピカピカ。手入れが行き届いています



岩見沢郷土科学館

見て、触れて、楽しめる 体験型学習館

日本で初めて岩見沢で発見された珍しい「雷管石(雷が落ちて岩石や土壌が一瞬でガラス化したもの)」や開拓時代に使われていた「開拓の鐘」のほか、郷土の歴史が分かる展示がいっぱい。プラネタリウムや科学体験コーナーもあります。



岩見沢市志文町809-1 いわみざわ公園内
TEL.0126-23-7170
●開館時間 水~日曜 9:30~17:00、
火曜 13:30~17:00(16:30まで入館)
●休館日 月曜・年末年始(12月29日~1月3日)

左/科学館は、いわみざわ公園の中にあります
下/懐かしい昔の暮らしがよく分かる展示もあります



天体と宇宙の世界で遊べるプラネタリウム

「純国産ホームスパン発祥の地、北村」をテーマにした展示。ほか石川啄木の資料なども



岩見沢市北村郷土資料コーナー「北村の記憶」

北村地域の歴史や文化に触れられます

北村地域のユニークな歴史や文化を5つのテーマで紹介する展示室です。「空知のホルスタインの父」と呼ばれた北村謹が開設した北村牧場やジンギスカンの展示もあります。

岩見沢市北村赤川595-4 北村環境改善センター内 / TEL.0126-55-3273 ●営業時間 9:00~21:00 ●休館日 毎月第1・第3日曜、12月29日~1月3日



2016年12月にオープン。北村の多彩な魅力を再発見できます